

▶ play7

テレビ東京ホールディングス
株主通信

第3期 第2四半期
2012.4.1-2012.9.30
Winter / 2012



特集

「ガイアの夜明け」が10周年

伝統を守りながら、さらなる進化へ
社会とともに歩んだ10年を振り返る



日経スペシャル
ガイアの夜明け

「ガイアの夜明け」が10周年 伝統を守りながら、さらなる進化へ

日本の再生を目指し、奮闘する人たちを見つめ続けて、『ガイアの夜明け』は10周年を迎えました。

2002年 第1回 「金融再編の現場！ 頭取の決断は？」

不良債権を抱えた銀行が生き残りをかけて金融再編を進めていく中、あさひ銀行（当時）の頭取に密着取材。「経済ドキュメンタリー」という新しいジャンルへの挑戦が始まった。



金融再編



中国

2002年 第5回 「“世界の工場へ”～農村少女の旅立ち～」

中国の都市と農村の格差をテーマに「農村少女」シリーズ開始。以降10年間、農村少女の目線を通じて中国の成長と真実を追う。中国の実情をリアルにとらえた企画は高く評価され、2005年9月に「民放連 テレビ報道番組優秀賞」、2006年5月に「ギャラクシー賞・奨励賞」を受賞した。

『ガイアの夜明け』がスタートしたのは10年前の2002年4月。日本経済がバブル崩壊後のいわゆる「失われた10年」の暗闇から脱することができずにいた中、『ガイアの夜明け』はこれまでに類のない経済ドキュメンタリーとしてスタートしました。

番組の開始当初、世界規模で起こる経済事象を「映像で伝える」ことは試行錯誤の連続でしたが、『ガイアの夜明け』が一貫してこだわったのは、最前線にカメラが入ることで現場の動きを

2004年 第108回 「過去の栄光を捨てろ！ ～企業再生のサムライたち～」

不良債権問題の処理が進む中、産業再生機構にフォーカス。一般的に興味を持ちにくいテーマでも視聴者に受け入れられた。

2003年 第60回 「潜入！北朝鮮 ～経済崩壊？“闇の隣国”～」

日本人拉致被害者の帰国が実現し、北朝鮮への関心が高まっている中、潜入取材を敢行。それまでで最も反響が大きい回となった。

2006年 第215回 「最先端！オーダーメイド医療 ～あなただけの治療法 選びます～」

個々人の体質に合わせて治療法を選択する「オーダーメイド医療」。最先端の医療の可能性に迫り、視聴者から広く支持された。

2002

日朝首脳会談、金融再生プログラム策定、サッカーW杯日韓大会

2003

SARS流行、イラク戦争開戦

2004

新潟県中越地震

2005

人口減少社会突入、介護保険法改正

2006

ライブドア事件

2007

サブプライム問題、年金記録問題

ガイアの視点 ▶▶▶ 2002-2003

番組開始当時の日本経済のキーワードは「閉塞感」でした。スタート当初の『ガイアの夜明け』には、日本経済の夜明けを探るために積極的なテーマがラインアップに上がりましたが、その背景には経営危機や企業再生といった混乱がありました。

ガイアの視点 ▶▶▶ 2004-2005

依然として厳しい状況に置かれる企業も多くありましたが、金融機関の不良債権処理は進み、好業績の企業も現れるなど、景気回復の足取りは確かなものになってきました。番組で取り上げるテーマも新たな可能性に挑む前向きなものが増え、「挑戦」が大きなテーマとなっています。

ガイアの視点 ▶▶▶ 2006-2007

多くの企業が最高益を出すなど景気回復はいつそう確かなものになりましたが、好景気の恩恵が偏ったことと経済成長が緩やかであったことから、個人レベルでは「好景気を実感できない」状況が続きました。景気回復を追い風にしたチャレンジや、好景気の波に取り残されながらも苦闘する姿など、番組テーマは多岐にわたりました。

現在進行形でとらえ、そこから経済の大きな変化の胎動を描きだすことです。説得力のある映像を撮るために、カメラはプロジェクトの成否が見えない時から現場に入り込んで、プロジェクトの進行を追い続けます。すべての取り組みが成功するわけではないので、企画が番組として成立するかはプロジェクトの成否とともにあるとも言えます。

こうした「日本経済の今」を丹念に追い続けた努力の結果、

『ガイアの夜明け』はテレビ東京のステーションイメージを担う番組に成長しました。

番組タイトル『ガイアの夜明け』には、「困難の中でも戦っている人たちがいる。そんな人たちがいる限り夜明けは必ず来る。日本は大丈夫だ。」というエールが込められています。この10年、激動する世界情勢の前に、社会システムの疲弊した日本は変化を問われ続けました。答えが定まらないなか発生した東日本大

震災は、問題を一段と浮き彫りにしました。

再び陥った混沌の時代を前に、『ガイアの夜明け』は原点に立ち返って、番組の社会的使命を再認識しています。これからも、『ガイアの夜明け』は日本の再生を目指して奮闘する人々を追い続け、番組をご覧の皆様が、「この国に、夜明けは必ず来る」と未来に希望を抱き、明日を探るきっかけになるような番組を目指します。

2008年 第305回

「マネー動乱 第2幕
～中国パブルの行方とオイルマネー～」

サブプライムショック後、グローバルマネーの動きに着目し、リーマンショックの半年前に放送（2008年3月11日）。「マネー動乱」シリーズは2007年-2009年の2年間で4回放送した。



世界金融危機



震災復興

2008年 第317回

「世界を救うニッポンの技術
～企業が果たす社会貢献とは～」

企業が事業活動を通じて社会貢献していくCSRに着目。貧富の格差や疫病など世界で深刻化している問題の解決に取り組む企業を紹介。歴代最高視聴率を獲得。

シリーズ企画

「復興への道」
13回放送

2011年3月29日にシリーズ第1回を放送。復興に向けた日本をテーマに、支援に取り組む企業や団体、個人にフォーカスしていく。

10周年シリーズ企画

「ニッポンの生きる道」

日本の経済、そして日本企業の進むべき道を様々な角度から検証し、問題提起をしていく1年間の特別シリーズ企画を放送。

日本再生



2012

ロンドンオリンピック、消費税増税法成立

2008

リーマンショック、北京オリンピック

2009

民主党へ政権交代

2010

口蹄疫流行、欧州債務危機拡大

2011

東日本大震災、アラブの春

ガイアの視点 ▶▶▶ 2008 - 2010

2007年夏のサブプライムショックに始まった経済動乱は、2008年9月のリーマンショックを引き起こし、世界経済を百年に一度と言われる大混乱に陥れました。業績が悪くなる企業が増えるにつれて取材も難しくなりましたが、番組は原点に立ち返って、苦境の中で「夜明け」を信じて奮闘する人々の姿を追い続けました。

ガイアの視点 ▶▶▶ 2011 -

2011年3月11日に東日本大震災が発生し、日本の置かれた状況は一変しました。

『ガイアの夜明け』は「シリーズ 復興への道」として、いわゆる震災ニュースでは伝えられない、未曾有の危機に対して勇気を持って立ち向かう人々を追い続けました。同シリーズは震災後約2週間で初回放送にこぎつけ、半年間で13回を数えるシリーズになりました。

そして2012年、放送開始10周年企画として「ニッポンの生きる道」をシリーズで放送しました。この10年間で世界は大きく変化しましたが、日本の取るべき選択肢は未だ定まりません。もはや「まったなし」の状況にあります。

番組を通じて奮闘する人々の勇気が日本に広がり、新たな息吹が芽生えることを願って、これからも番組は「現場」を追い続けます。

2014年のテレビ東京開局50周年へ向けて、次世代を担うメディアグループを目指します。

中期経営計画については当社IRサイトもご覧ください。決算説明会の状況(動画)や資料を掲載しています。

Check!

TXHD 決算説明会

検索

<http://www.txhd.co.jp/ir/library/presentation/>

2012年度上半期は堅調な放送収入により増収達成、視聴率は上昇

2012年度第2四半期連結累計期間(2012年4月～9月)の業績をご報告するにあたりまして、まず株主の皆様の日ごろのご支援に心から御礼申し上げます。

当社グループの当上半期の業績は、(株)テレビ東京及び(株)BSジャパンの放送収入が堅調に推移したことなどによって連結売上高は557億4千1百万円、前年同期比5.0%の増収となりました。一部のグループ会社が減益となったことから営業利益は11億5千1百万円、前年同期比15.1%の減益にとどまりましたが、四半期純利益については子会社株式の売却益があったことなどによって11億1千8百万円、前年同期比57.4%の増益となりました。

この上半期は、スポット収入が東日本大震災の影響を受けた前年度から大きく回復しましたが、足元の広告市況はやや弱含んでおり、世界経済の停滞は長引くと思われれます。このため通期の業績予想は売上高を1,140億5千9百万円、営業利益を20億1百万円に修正いたしました。

放送事業の中核であるテレビ東京の視聴率は、引き続き「原点回帰」をコンセプトに番組編成を進めたところ、2012年度上期の視聴率はゴールデンタイム6.5%(前年同期比1.0ポイント増)、プライムタイム6.2%(同1.0ポイント増)、全日2.9%(同

0.4ポイント増)と3部門とも上昇しました。

開局50周年を目指し2013中期経営計画を策定

当社グループは、2014年にテレビ東京が開局50周年を迎え、2015年以降には放送に不可欠なマスター設備の更新や、これにあわせた新社屋の整備計画などが控えており、今後、重要な時期を迎えます。

この節目の時期を次の50年の成長の礎とするために「2013中期経営計画」の策定を進めています。その第一歩として、まず計数目標を定めました。計画の最終年度である2015年度の売上高は1,274億円、営業利益は44億円といたしました。現在は「2011中期経営計画(現中期計画)」の遂行途中にありますが、「2013中期経営計画」も現中期計画の柱である「番組コンテンツ力の強化」「デジタル戦略の推進」「アジア展開の加速」の3つの基本方針を堅持し、さらに推進いたします。この基本方針に基づく施策は結果を出し始めています。「原点回帰」をコンセプトに掲げたテレビ東京の視聴率は確実に回復しているほか、ハイクオリティな番組を放送するBSジャパンは二桁成長を続けています。そして、地上波放送、BS放送で培ってきたコンテンツ制作力をデジタル戦略の分野でも発揮するほか、欧米だけでなくアジアに向けてもコンテンツを提供するなど、当社グループの活躍する舞台は大きく広がっています。

東日本大震災発生から一年の節目に放送した「明日をあきらめない…がれきの中の新聞社 ～河北新報のいちばん長い日～」が、第8回日本放送文化大賞グランプリを受賞しました。この震災をどう記録し、伝えていくかはメディアにとって大きな責任と役割があります。名誉ある賞をいただいたことは当社グループの制作力が評価されたことと受け止め、これを誇りに今後もメディアに課せられた使命を果たし、良質なコンテンツを視聴者の皆様に提供してまいります。

テレビ東京開局50周年のキャッチコピーは「まっすぐ、ずっと。」です。責任あるメディアとして、独創性豊かなコンテンツ創造集団として、私たちは信じる道を「まっすぐ」に「ずっと」歩き続けていくという決意とメッセージを込めています。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社テレビ東京ホールディングス
株式会社テレビ東京
代表取締役社長

島田昌幸

しまだ まさゆき

「明日をあきらめない… がれきの中の新聞社 ～河北新報のいちばん長い日～」

第8回日本放送文化大賞 グランプリ受賞

テレビ東京が東日本大震災発生から一年の節目に放送した「明日をあきらめない…がれきの中の新聞社 ～河北新報のいちばん長い日～」が、東京ドラマアワード2012単発ドラマ部門グランプリに続いて、第8回日本放送文化大賞においてグランプリを受賞しました。



■あらすじ 2011年3月11日。あの日、自らも被災しながら、それでも新聞の発行を続けた新聞社があった。東北の地元紙・河北新報である。未曾有の大震災の実情を伝えようとするジャーナリストの熱意と葛藤。新聞を作り続けるために奮闘する社員たち。そして不眠不休で危険な現場取材を続ける記者を支える家族…。大きな被害を受けながらも、地元の人々のために情報を発信し続けた地元紙の奮闘と苦悩を描く、真実のドラマ。

〈日本放送文化大賞とは〉

日本民間放送連盟が、会員各社で質の高い番組がより多く、制作・放送されることを促すことを目的に、2005年に制定。“視聴者・聴取者の期待に応えるとともに、放送文化の向上に寄与した”と評価される番組を顕彰し、ラジオ、テレビそれぞれにグランプリ1番組、準グランプリ1番組を選定。



宇宙空間を体感できる 移動式全天球シアター「SPACE BALL」誕生

テレビ東京は、全身が映像と音に包まれて浮遊感覚が体感できる、世界でたった一つの移動式全天球シアター「SPACE BALL」で、皆様を宇宙の旅へお連れします。

直径約10メートルの球形スクリーン内部にあるガラスのフローティングステージが、前後左右、上下…、全身を包む果てしなき星空と映像、立体音響と相まって、皆様の意識が変化するような新しい体験に導きます。天球シアターそのものがひとつのアート作品であり、複数のプロジェクターが巨大球体に地球や様々な惑星を映し出します。

開発プロデュースはプラネタリウムクリエイターの大平貴之氏。世界に誇るMEGASTARの最新機能と超高解像度映像は圧倒的な宇宙空間を創り出します。

「SPACE BALL」で体験するプログラムも、シアターに負けないハイクオリティな世界を目指します。世界最高峰の宇宙データベースを積んだスペースエンジン「Uniview」開発者の高幣俊之氏、「HAYABUSA-BACK TO THE EARTH」監督の上坂浩光氏と大平貴之氏が、これまでにない宇宙の旅を形作ります。宇宙航空研究開発機構

(JAXA) も最新の衛星画像や、宇宙からの映像で協力。アドバイザーに宇宙飛行士の毛利衛氏を迎え、実際の宇宙体験者ならではのリアルな宇宙の旅を演出します。

at home presents SPACE BALL (東京会場)

- 期間 2012年12月15日(土)～2013年1月27日(日)
10時～22時 ※12月15日(土)のみ13時～22時
※2013年1月1日(火・祝)は休演 毎日36回上映
- 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 地下1階 ロビーギャラリー
- 定員 各回30名 10分プログラム 完全入替制
- 入場料(税込) 当日/大人1,800円、子供600円
前売り/大人1,500円、子供500円
※大阪・名古屋・福岡ほか地方会場も順次開催予定
- 主催 テレビ東京
- 開発プロデューズ 大平貴之(大平技研)
- アドバイザー 毛利衛(宇宙飛行士)
- 協力 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、
日本経済新聞社
- 特別協力 株式会社東京国際フォーラム
- 特別協賛 アットホーム株式会社
- お問合せ 【イベントについて】
ハローダイヤル: 03-5777-8600(全日 8:00～22:00)
【チケットについて】
ticket board インフォメーションセンター:
0570-006-506(火～土 12:00～18:00 祝日除く)

(株)テレビ東京は、ロンドンオリンピックの開催やスポットCM市場の回復などによって増収。
 (株)BSジャパンは、媒体価値の向上に伴い2ケタ成長を達成。

事業セグメントと連結子会社

地上波放送事業

- 株式会社テレビ東京

放送周辺事業

- 株式会社テレビ東京ミュージック
- 株式会社テレビ東京メディアネット
- 株式会社テレビ東京コマーシャル
- 株式会社テレビ東京アート
- 株式会社テレビ東京システム
- 株式会社テレビ東京制作
- 株式会社テレビ東京ダイレクト
- 株式会社テレビ東京ヒューマン
- 株式会社テクノマックス
- 株式会社テレビ東京建物
- 株式会社エー・ティー・エックス(AT-X)
- TV TOKYO AMERICA, INC.

BS放送事業

- 株式会社BSジャパン

インターネット・モバイル事業

- テレビ東京ブロードバンド株式会社

※当第1四半期連結会計期間において、エフエムインターウェブ株式会社の株式の一部を売却したことにより、連結の範囲から除外しております。

売上比率とその内容

地上波放送事業

売上比率 **75%**[※]
 売上高 **453億3百万円** (前年同期比4.3%増)
 営業損失 **1億5千5百万円** (前年同期は営業損失3億6千5百万円)
 ○放送収入(タイム・スポット) / 番組販売収入 / ソフトライツ収入 / イベント収入

放送周辺事業

売上比率 **16%**[※]
 売上高 **159億2千7百万円** (前年同期比2.8%減)
 営業利益 **11億3千3百万円** (前年同期比9.8%減)
 ○放送事業に関連する事業による収入

BS放送事業

売上比率 **8%**[※]
 売上高 **47億3千3百万円** (前年同期比29.5%増)
 営業利益 **7億1千万円** (前年同期比13.0%増)
 ○放送収入 / 番組販売収入 / その他周辺権利を利用した事業による収入

インターネット・モバイル事業

売上比率 **1%**[※]
 売上高 **8億6千5百万円** (前年同期比15.6%減)
 営業利益 **8百万円** (前年同期比85.0%減)
 ○インターネット・モバイル向けコンテンツ配信・提供による収入

※内部取引を消去して計算

各事業セグメントの概況

地上波放送事業

放送収入のうちタイム収入は、ネット部門における単日セールスが伸び悩んだものの、ロンドンオリンピックの影響もあり、結果として252億3千9百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

スポット収入は、東日本大震災の影響を受けた前年度からは大きく回復し、118億8百万円(同11.6%増)となりました。

番組販売収入は、「開運!なんでも鑑定団」「モヤモヤさまぁ〜ず2」「ありえへん∞世界」をはじめとする既存番組の売り上げが



開運!
なんでも鑑定団

NARUTO-ナルト-
疾風伝



©岸本斉史 スコット / 集英社・テレビ東京・びえろ

モテキ



© 2011 映画「モテキ」製作委員会

Check! /

決算説明会の状況(動画)、
資料は当社IRサイトをご覧ください。

TXHD 決算説明会

検索

<http://www.txhd.co.jp/ir/library/presentation/>

順調だったものの、「やりすぎコージー」等、ローカル局への売り上げが好調だった番組の終了が影響し、21億5千1百万円(同6.7%減)となりました。

ソフトライツ収入のうち、一般番組では、「ウレロ☆未確認少女」「ゴッドタン」等、映画では前年度に劇場公開された映画「モテキ」のDVD販売が好調でした。また、アニメ事業では、「NARUTO」「BLEACH」を中心に海外販売は堅調に推移しましたが、前年度にあった大規模な劇場公開映画が当年度はなかったことなどから、全体としてソフトライツ収入は、51億6千1百万円(同0.8%減)となりました。

イベント収入は、全体としてイベント数が少なく、また、大規模イベントも開催されなかったことから、1億6千4百万円(同63.4%減)となりました。

Keyword 用語解説

タイム収入 タイムCM(原則30秒)による収入。特定の番組を提供するCMのことで、広告主は番組の制作費・電波料を負担します。
スポット収入 スポットCM(原則15秒)による収入。番組と番組の間に放送するCMのことで、
番組販売収入 番組を他の放送局に販売することで得られる収入。系列局以外にも販売しており、系列ネットワークがカバーする地域

外でもテレビ東京の番組は視聴されています。
ソフトライツ収入 放送番組のビデオ化や海外販売、出版化、ゲーム化等、放送番組の周辺権利を利用して収益を上げる事業や、IT関連、アニメ、映画関連事業が含まれます。
イベント収入 スポーツ競技や文化イベントの主催等により収益を上げる事業です。

放送周辺事業

通信販売関連は、前年度に比べテレビ通販番組枠が減少したことに加え夏物商戦の苦戦が響き、(株)テレビ東京ダイレクトの売上高は31億8百万円(前年同期比24.3%減)となりました。

また、CS放送関連では、三波共用デジタルテレビ需要が一段落したことなどから加入者数は横ばいでしたが、アニメ番組「メタルファイト ベイブレード」等のライツ売上げが引き続き好調だったため、(株)エー・ティー・エックスの売上高は26億4千9百万円(同15.6%増)となりました。

音楽出版関連では、印税収入が低調で、(株)テレビ東京ミュージックの売上高は16億9千万円(同10.4%減)となりました。



メタルファイト
ベイブレード
ZERO G

© Takafumi Adachi, MFBBProject, TV Tokyo

BS放送事業

放送収入は、スポット収入が好調でした。番組販売収入は、「まさる君が行く!ポチたまペットの旅」等のローカル局への売り上げが堅調でした。

一方、費用面では、番組の充実を図るために、4月から「NIKKEI×BS LIVE 7PM」等のレギュラー番組をスタートさせたことによる番組制作費の増加がありました。



まさる君が行く!
ポチたまペットの旅

インターネット・モバイル事業

インターネット・モバイル事業では、(株)テレビ東京で放送中の子供向けバラエティ番組「ピラメキーン」の公式ECサイト「ピラタウン」での販売や、番組連動アプリ販売によるスマートフォン向け課金サービスの売り上げも順調に伸びましたが、既存のフィーチャーフォン向け有料会員数の減少等が影響しました。



ピラメキーン
公式ECサイト
「ピラタウン」

2012年度上半期は、放送収入が堅調に推移したことにより増収を達成。
 下半期の広告市況は世界経済の停滞の影響が懸念される。

2012年度第2四半期連結累計期間（2012年4月～9月）の日本経済は、復興需要等により引き続き底堅さが見られるものの、世界景気、特に欧州や中国等の不確実性の高まりから景気が下押しされるリスクが強まっており、さらなる注視が必要な状況のまま推移しました。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、(株)テレビ東京及び(株)BSジャパンの放送収入が堅調に推移したことなどによって売上高は557億4千1百万円と前年同期比5.0%の増収となりました。一部のグループ会社が減益となったことから営業利益は11億5千1百万円、前年同期比15.1%の減益にとどまりましたが、四半期純利益については子会社株式の売却益があったことなどによって11億1千8百万円と前年同期比57.4%の増益となりました。

売上高

557億4千1百万円
 (前年同期比5.0%増)

営業利益

11億5千1百万円
 (前年同期比15.1%減)

四半期純利益

11億1千8百万円
 (前年同期比57.4%増)

1株当たり中間配当金

12.5円

▶ 2013年3月期 業績予想

売上高 …………… 1,140億5千9百万円
 (前年同期比2.3%増)
 営業利益 …………… 20億1百万円
 (前年同期比8.5%減)

●下半期は世界経済の停滞が広告市況にも影響する見込み。

▶ 1株当たり配当金

〈配当方針、目標〉

グループの成長と企業価値の増大、長期的な経営基盤の充実にに向けた内部留保とのバランスを考慮し、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた利益還元に努めます。

1株当たりの配当金は年額20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向30%を目標にしております。

〈2013年3月期 期末配当予想〉

1株当たり12.5円
 (年間配当は1株当たり25円)

Check! /

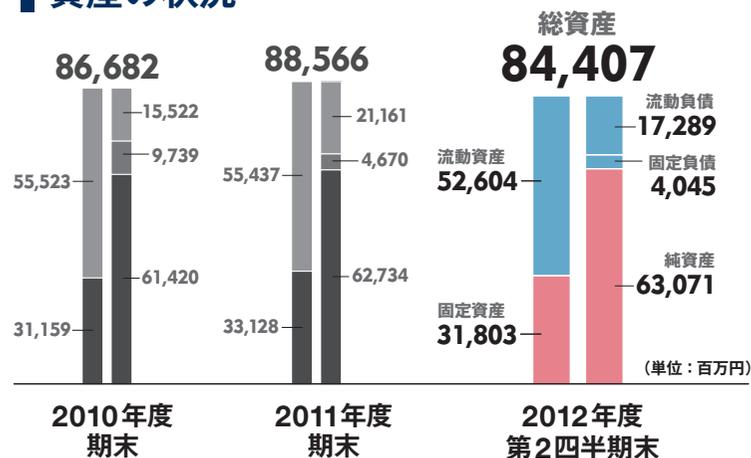
連結財務諸表（連結貸借対照表、連結損益計算書ほか）、財務ハイライトは当社IRサイトをご覧ください。

TXHD 財務・業績情報

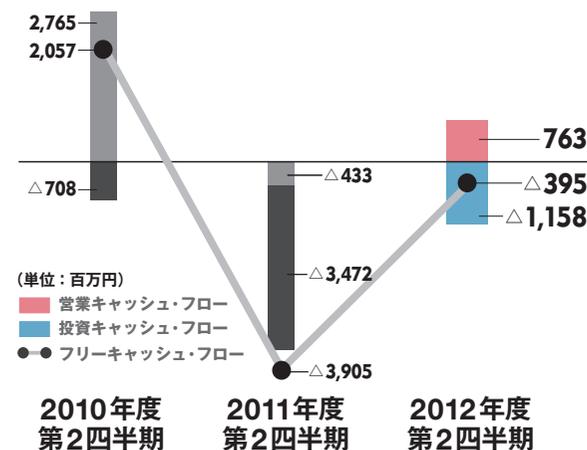
検索

<http://www.txhd.co.jp/ir/finance/>

資産の状況



フリーキャッシュ・フロー



※2010年度第2四半期は旧(株)テレビ東京の連結数値です。

▶ 資産の状況

〈流動資産52,604百万円の主な内訳〉

- ・受取手形及び売掛金 …… 20,686百万円
- ・現金及び預金 …… 17,866百万円

〈固定資産31,803百万円の主な内訳〉

- ・有形固定資産 …… 17,373百万円
- ・投資有価証券 …… 8,117百万円

〈流動負債17,289百万円の主な内訳〉

- ・未払費用 …… 8,071百万円
- ・支払手形及び買掛金 …… 2,698百万円

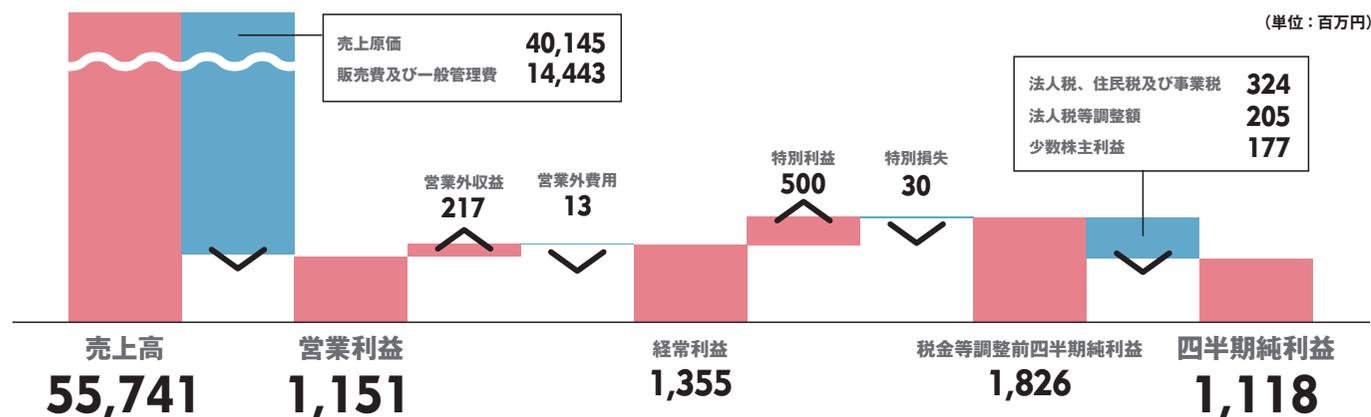
〈固定負債4,045百万円の主な内訳〉

- ・退職給付引当金 …… 3,300百万円

〈純資産63,071百万円の主な内訳〉

- ・株主資本 …… 61,665百万円

損益の状況 2012年度 第2四半期



▶ キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は58億5千6百万円となりました。

これは営業活動によるキャッシュ・フローが7億6千3百万円の資金取得となったほか、投資活動によるキャッシュ・フローが11億5千8百万円の資金支出、財務活動によるキャッシュ・フローが19億3千5百万円の資金支出となったことによります。

さらに“らしさ”に磨きをかけて、 視聴率は上昇。

テレビ東京

2012年度上期の部門別平均視聴率は、ゴールデンタイム6.5%（前年同期比1.0ポイント増）、プライムタイム6.2%（同1.0ポイント増）、全日2.9%（同0.4ポイント増）となり、全部門で2011年度の同時期を上回る結果となりました。ゴールデンタイム、プライムタイムについては、「木曜8時のコンサート～名曲! につぼんの歌～」が同枠で前年同期比3.2ポイント増、「水曜ミステリー9」が同枠で前年同期比4.8ポイント増、「主治医が見つかる診療所」が同枠で前年同期比2.0ポイント増と、2011年10月及び2012年4月改編でスタートした新番組が好調であったことに加え、「モヤモヤさまぁ〜ず2」「土曜スペシャル」「カンブリア宮殿」「日曜ビッグバラエティ」等のレギュラー番組も視聴率を伸ばしました。

特別番組でも「激録・警察密着24時!!」「やりすぎ都市伝説スペシャル2012春・夏」「元祖! 大食い王決定戦 爆食なでしこ乱れ咲き」「カラオケ★バトル9」「世界の秘境で大発見! 日本食堂5」等が高視聴率を獲得しました。

10月にはゴールデンタイム帯で約30%の大改編を行いました。原点回帰のコンセプトを堅持し、奇をてらうことなく“テレビ東京らしさ”を追求しています。



木曜8時のコンサート
～名曲! につぼんの歌～
／木曜 夜7:58

BSジャパン

4月編成で平日夜7時のベルト番組「NIKKEI×BS LIVE 7PM」を放送開始。ネオシニア世代に向けた新しい知的情報ワイドとして浸透してまいりました。同じく4月からスタートした日本全国の神社を訪ねる「GRACE OF JAPAN」、より良いシニアライフを指南する「高田純次の年金生活」も高評価を得ています。特別番組では旬の俳優を旅人に迎えた「瑛太が挑む世界最長の大河ナイル」「杏が歩く! 恋する東海道」が大きな話題を呼びました。

10月編成では新番組「空から日本を見てみようplus」「夫婦がありがとう」がスタート。“より深いテレビ”を求める視聴者に向けて、タイムテーブルをパワーアップしています。



NIKKEI×BS LIVE 7PM
／月～金曜 夜7:00

Keyword 用語解説 ゴールデンタイム／19時～22時 プライムタイム／19時～23時 全日／7時～24時

テレビ東京 高視聴率番組 トップ5

レギュラー番組		放送日	視聴率(%)
1	開運!なんでも鑑定団	12.8.21	13.7
2	土曜スペシャル ローカル路線バス 乗り継ぎ旅 (三重県松坂～長野県松本)	12.9.1	12.8
3	水曜ミステリー 9 刑事吉永誠一 涙の事件簿9 迷い骨	12.6.20	11.3
4	出没!アド街ック天国 ～横浜 元町～	12.9.22	11.1
5	モヤモヤさまぁ〜ず2 スペシャル	12.4.22	10.8

特別番組		放送日	視聴率(%)
1	激録・警察密着24時!!	12.7.1	10.9
2	ウソかホントかわからない やりすぎ都市伝説スペシャル2012	春 12.4.6 夏 12.8.31	10.7 10.7
3	元祖! 大食い王決定戦 爆食なでしこ乱れ咲き	12.4.8	10.6
4	カラオケ★バトル9	12.6.24	10.4
5	世界の秘境で大発見! 日本食堂5	12.6.17	10.3

TXNネットワーク

TXNネットワークは、テレビ東京をキー局として系列を組み、ネットワークを構築しています。6局で構成された効率的なネットワークは、全国視聴可能世帯の68.6%をカバーしています。





家族揃って楽しめる体験型動物バラエティー

火曜
夜 7:00 **ペット大行進! ど〜ぶつくん**

出演: 八嶋智人、中川翔子、オードリー ほか



おもしろ&検証、感動の実話、動物との季節の旅などコンセプトに合わせたメインコーナーと、大人の視聴者の心をつかむサブコーナーで構成。レギュラーは全国の動物園や水族館から体当たりのレポートをお届けします。

ブラマヨが贈る庶民応援バラエティー!

金曜
夜 7:00 **お金がなくても幸せライフ
がんばれプアーズ!**

司会: ブラックマヨネーズ、松丸有紀(テレビ東京アナウンサー)



不況が続く日本。でも、お金がなくてもたくましく生きている人がいる! いわゆる「貧乏人」とは違う、前向きに楽しく生きる人々を「プアーズさん」取材。夢に向かって生きる人生や、アイデア生活術を紹介します。

世界で活躍する知られざる日本人を紹介!

金曜
夜 7:54 **世界ナゼそこに?日本人
~知られざる波瀾万丈伝~**

MC: ユースケ・サンタマリア、杉崎美香



世界各地で活躍する様々な経歴を持った日本人を取材・紹介し、なぜここで働くのか、なぜそこに住み続けるのかを、波瀾万丈な人生ドラマとともに紐解いていくドキュメントバラエティーです。

女の子たちがなりたい姿、見たい夢!すべて魅せます!!

月曜
夜 7:30 **アイカツ!**



© SUNRISE/BANDAI,DENTSU,TV TOKYO



「アイドル活動」、略して、『アイカツ!』は、トップアイドルを目指す主人公たちを、楽しく、時に熱く、かつ感動的に描く、日本中のみんなが元気な気持ちになれるアニメです。



空から日本を眺める新感覚バラエティー!

火曜
夜 8:00 **空から日本を見てみよう plus**

くもじい: 伊武雅刀 くもみ: 柳原可奈子



くものおじいさん(くもじい)と、くもの少女(くもみ)が日本中をのんびり飛び回る、テレビ東京で人気を博した番組が復活! 地上からではわからない、空から見るからこそ楽しめる絶景スポットの数々を紹介します。

長年連れ添った夫婦のトークバラエティー

金曜
夜 9:00 **夫婦であらう**

MC: 山口智充 アシスタント: 武内由紀子



毎回、60歳以上の夫婦2組をゲストに迎え、長年連れ添う中での楽しい思い出や苦勞などを赤裸々に語ってもらう。終盤には積年の思いをギュッと濃縮したラブレターの朗読も。

会社情報 (2012年9月30日現在)

会社の概要

会社名	株式会社テレビ東京ホールディングス (TV TOKYO Holdings Corporation)
本店所在地	〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12
URL	http://www.txhd.co.jp/
設立	2010年10月1日
資本金	100億円

役員

代表取締役社長	島田 昌幸
専務取締役	菊池 悟 営業統括 藤延 直道 社屋整備、総務局、人事局、技術室、 情報システム局担当 辻 幹男 編成、制作統括
常務取締役	高島 政明 経理統括 三宅 誠一 広報局、グループ戦略局、新規事業推進室担当 井澤 昌平 コンテンツ、事業、アニメ統括 兼 メディア・アーカイブセンター担当
取締役	宮田 鈴子 法務・契約局担当 廣瀬 和彦 経営企画局担当 永野 健二 株式会社BSジャパン 代表取締役社長 喜多 恒雄 株式会社日本経済新聞社 代表取締役社長 大橋 洋治 全日本空輸株式会社 取締役会長 立岩 文夫 テレビ大阪株式会社 代表取締役社長
常勤監査役	箕輪 新一
監査役	青池 紀夫 株式会社日本経済新聞社 経理担当 荒木 浩 東京電力株式会社 社友 中地 宏 監査法人ナカチ 会長・代表社員

(注) 1. 取締役 喜多恒雄氏、取締役 大橋洋治氏、取締役 立岩文夫氏は社外取締役です。
2. 監査役 青池紀夫氏、監査役 荒木浩氏は社外監査役です。

株式情報 (2012年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	28,779,500株
株主数	9,476名
単元株式数	100株

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社日本経済新聞社	9,052,710	31.46
株式会社テレビ東京	1,373,753	4.77
新日本観光株式会社	1,250,000	4.34
三井物産株式会社	1,002,050	3.48
日本生命保険相互会社	864,950	3.01
株式会社みずほ銀行	721,040	2.51
株式会社東京計画	660,000	2.29
株式会社三菱東京UFJ銀行	595,500	2.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友銀行退職給付信託口)	590,500	2.05
テレビ東京ホールディングス社員持株会	523,645	1.82

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催(議決権の基準日は毎年3月31日)
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社

お手続き

- 株式に関する各種お手続き(未受領の配当金を除く)につきましては、原則、口座を開設している証券会社等で承ります。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行、みずほ銀行及びみずほインベスターズ証券(取次のみ)の本支店でお受けいたします。
※みずほインベスターズ証券は2013年1月4日以降はみずほ証券となります。
- ご不明な点は、下記のみずほ信託銀行へお問い合わせください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 ☎0120-288-324

外国人等の株主名簿への記載制限

放送法に関連して、当社定款には次の規定があります。

【定款第12条】

当社は、次の各号に掲げる者(以下「外国人等」という。)のうち、第1号から第3号までに掲げる者により直接に占められる議決権の割合と、これらの者により第4号に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割合として総務省令で定める割合とを合計した割合が、当社の議決権の5分の1以上を占めることとなるときは、放送法の規定に従い、外国人等の取得した株式について、株主名簿に記載または記録することを拒むことができる。

- (1) 日本の国籍を有しない人
- (2) 外国政府またはその代表者
- (3) 外国の法人または団体
- (4) 前3号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体

IRメール配信サービス

Eメールアドレスをご登録いただいた方へ、テレビ東京ホールディングスのニュースリリース、IRニュースをEメールでお知らせいたします。

当社ホームページからご登録ください。

<http://www.txhd.co.jp/ir/mail/>

グループ全体の最新情報はこちら

詳しくは
Webで

<http://www.txhd.co.jp/>

TXHD

検索

テレビ東京ホールディングスとグループ会社の最新情報をまとめて閲覧できます。また、テレビ東京ホールディングスの経営計画や財務情報、株式情報等、株主・投資家の皆様向けの情報をご覧いただけます。



お問い合わせ先

株式会社テレビ東京ホールディングス 総務局総務部
〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12 ☎03-5473-3001(代表)



PROJECT-
With the Earth
この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。

